

ちばの地域福祉

中核地域生活支援センターのスタッフに求められること

中核地域生活支援センター なかまネット
所長 上谷 豪

中核センターは、対象や課題を限定しない枠組みのゆるやかな総合相談事業です。

何らかの突出した専門性を持つわけでもなく、また職員数人の体制の中ではできることは限られています。しかし、どんな人のどんな問題でも生活全体を取り上げて一緒に考えることができることは、大きな強みであると言えます。

相談活動の中で、まずは「その人の全体を理解する」「辛さや苦しさに共感する」ことが必要です。ご本人やご家族と話し合い関わりながら、生活のしづらさとその背景を探っていき、その過程で相談者が自己理解を深め、自分や家族の抱えている問題や課題に気づいていくことを重視し、相談者自身の「気づき」と「自ら考え、行動していくこと」「本人を支える周囲の関係」を大切にします。

もちろん、付き合うスタッフの性別や年代、キャラクター、経験によって引き出される反応が変わってくることもありますから、定型化された支援の方法があるわけではありません。ときには、不安や混乱が高じた相談者の行動に振り回されるプロセスを経て事実を発見することもあれば、付き合う時間の中で相談者が問題を整理して行動に移すのを待つこともあります。大切なのは、付き合うことを通じて孤立や不安を感じている相談者との間に信頼関係の手がかりを得ていくこと、相談者の不安や辛さに共感し、置かれた状況に理解を深めていくこと、そして地域の方々に働きかけながら、地域の繋がりの中で暮らすための方法を一緒に考えることです。

中核センターの仕事は、人と人とのコミュニケーションで成り立っています。

自らが人と繋がること、また、人と人とを繋げること……。

中核センターのスタッフに求められることは、

「沢山の人と関わりながら様々な体験を積むことができ、それを共有していけること」

「人の笑顔が大好きなこと」だと思っています！

ちから ちばの福祉力・社会資源

千葉県手をつなぐ育成会とは？

千葉県手をつなぐ育成会
会長 田上 昌宏

『手をつなぐ育成会（親の会）』は知的障害のある本人を中心にした家族の会で、普段は市町村単位で活動しています。育成会の活動の柱は二つあり、一つは本人が自分の望んだところで安心安全に暮らす社会の実現に取り組むこと、もう一つは家族全体を支えていく活動です。『千葉県手をつなぐ育成会』は、各地区の会員が交替で役員を務め、千葉県レベルで行政や関連機関・団体との意見交換や緊密な関係づくりを進めつつ、上部団体である『全国手をつなぐ育成会連合会』の活動を支えています。

●活動の紹介

まず楽しいことから。実は、県育成会会員は毎年山武郡九十九里町にお邪魔しています。それは、県レクリエーション部恒例の企画である地曳網に参加するため、県内各地から200名以上の本人・家族・支援者が集まり、一斉に網を引く光景は壮観です。山武市の親の会会員さんの協力もあり、みんなでにぎやかに過ごせるひと時です。本人にとっては、楽しく仲間や社会と触れ合う機会になっています。

そして、県育成会は、研修会や勉強会、相談事業を通じて本人の権利擁護について考え、話し合う場もあります。広い千葉県全体の課題を考えるうえで、さんぶエリアネットを始めとする中核地域生活支援センターの存在はとても頼もしく、感謝しています。各地区会員がメンバーとなって、研修部・権利擁護委員会・家族支援プロジェクトまんま隊の活動の企画・運営を担当していますが、中核のみなさんのアドバイスやご支援をいただいて活発な活動を続けています。

平成19年施行の「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の制定は、関係団体と共に、県の育成会が一つになって行動できた成果でした。その思いで、今も各地区会員が県育成会としての活動を担っています。今年は障害者差別解消法が施行され、県内の市町村の対応要領や地域協議会の情報が集まりつつあります。本人や親の立場から、私たち自身が法律を理解すること、できた法律をより良く生かすことをこれからも考えていこうと思います。



九十九里海岸で地曳網を楽しむ本人・家族・支援者

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

有限会社あいの手介護サービス

～誰もが社会の一員として誰かの役に立てる仕組みづくりを目指して～

横芝光町には誰もが地域の中で安心して暮らせるように、地域連携に力を注ぐ福祉企業があります。代表取締役の小林幸夫氏に、企業の活動についてご紹介いただきます。

「有限会社あいの手介護サービス」

訪問介護事業・居宅介護・重度訪問介護事業
同行援護事業・行動援護事業・移動支援事業

「ケアプランセンターあいの手」

居宅介護支援事業・特定相談支援事業
障害児相談支援事業・一般相談支援事業

「福祉タクシーあいの手」

一般乗用旅客自動車運送事業（福祉限定）
自家用自動車有償運送事業

「Job School, Com」

就労移行支援事業

「fu～fu～cafe」・「fu～fu～cafe のおやつ工房」

飲食店事業・菓子製造業

【本社】

〒289-1732 山武郡横芝光町横芝 2385-2
TEL 0479-80-1820 FAX 0479-80-1821
Mail ainote@apricot.ocn.ne.jp

【Job School, Com】

〒289-1726 山武郡横芝光町木戸 1327-6
TEL 0479-74-3737 FAX 0479-74-3700
Mail job-school@cream.plala.or.jp

【fu～fu～cafe】

〒289-1733 山武郡横芝光町栗山 272-7
TEL 0479-82-2020



平成 15 年に山武郡横芝光町で創業。子どもから高齢者まで、障害の有無を問わず、地域で暮らす皆様の在宅支援を中心に活動中です。相談事業、ケアマネジメント事業、ホームヘルプ事業、外出支援事業、福祉タクシー事業、福祉制度から漏れた方への自主事業によるレスパイト事業等を実施し、福祉資源の少ない横芝光町の福祉の増進に努めています。支援活動を通じて、人は皆、自分の存在意義や居場所を模索していると感じ、子どもも、高齢者も、心身にハンディがある方も、誰もが社会の一員として誰かの役に立てる仕組みを作りたいと考えました。特に障害があるために、仕事をしたくてもチャンスに恵まれない方が多数いらっしゃることに着目し、就労訓練施設はもちろんのこと、ハンディのある方の就職先となる企業や実習の受け皿となる社会資源を自分達で一つずつ作るしかない！と決心し、できる事から始めようと活動を開始しました。

まずは、地域の皆さんが気軽に集える場所として飲食店事業「fu～fu～cafe」を、同時に菓子製造業「fu～fu～cafe のおやつ工房」を展開しました（後に施設外支援の受け皿となります）。開発した自社オリジナルブランドの焼菓子「ぴーなっつのブルドネージュ」（商標登録済）が「食のちばの逸品 2015 女性起業家等部門銀賞」を、続いて外国人観光客等に訴求する地場産品として国土交通省 TOKYO & AROUND TOKYO ブランドに認定され「観光振興推奨賞」を受賞し、千葉県、関東の地場産品として認められました。また地域の商工観光及び地域振興活動へ積極的に参画し、地域の様々な企業との関わりを深め、心身にハンディのある方の雇用促進に関する普及活動を独自に実施していきました。当初は困難を極めた活動も、地域の企業様から徐々に関心を持って頂き、いわゆる企業における社会貢献という福祉的な視点ではなく、障害があっても社員として戦力となるのであれば積極的に雇用という事業的な視点で御理解を頂き、複数の企業様より、当社の福祉事業としての活動に協力したいとの意向を頂くまでになりました。

ようやく福祉事業、飲食店事業、菓子製造業の点と点が線に繋がり、平成 28 年 5 月、就労移行支援事業所「Job School, Com」を開設しました。複数の地元企業様に施設内訓練の作業提供や施設外支援の受け皿を担っていただき、訓練生も日々、就職を目指して意欲的に訓練に励んでおられます。

「心身にハンディのある地域の人が、地域の企業に就職し、地域の企業で安心して勤務し続けられる」、そんな地域密着型の就労支援の仕組みが、今スタートしました。



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

第27回千葉県重症心身障害連絡協議会 年度大会

重症心身障害児者のQOLの向上を目指す試み

◆日時 平成28年7月27日(水) 13:00～16:40

◆会場 千葉市文化センター アートホール

◆内容

Session 1 『在宅支援』

1. 重症心身障害児者のQOLの向上を目指す行政職員の試み
2. 下志津病院でのショートステイサービスの現状と取り組みについて
3. 重症心身障害者グループホーム「たんぼぼ」での1年

Session 2 『通所・入所の日中活動』

1. 医療的ケアの濃厚な重症児者への療育活動とその成果
2. 仮想旅行に出かけよう! ～五感で感じる活動～
3. 桜木園におけるボランティアとの協働による利用者の社会性の拡大を目指す取り組み

Session 3 『摂食・家族』

1. 重症心身障害児(者)の摂食機能障害への対応
2. 光陽園における食事と摂食指導の取り組み ～食べることの喜びと感動を～
3. 在宅の重症児者家族の願い

【お問い合わせ先】

千葉県重症心身障害連絡協議会 事務局(下志津病院内) / 担当 療育指導室 和田
TEL 043-422-2511

【参加費】 無料 / 当日参加も受け付けます

※当日は千葉市重症心身障害児(者)を守る会がケアルーム(保育)を開設します。ご利用希望者は7月20日までに「さいわい」(TEL 043-242-1230) 担当・江本までご連絡ください。

平成28年度 第1回福祉講演会

「生活を支える」——子どもの貧困を考える

◆日時 平成28年7月19日(火) 13:30～16:00

◆会場 香取市小見川市民センターいぶき館 304 研修室

◆内容

第1部 基調講演「子どもの貧困を考える」

1. 保育園の立場から / 2. 学校教育の立場から / 3. 行政相談支援の立場から

第2部 パネルディスカッション・意見交換

【お問い合わせ先】

中核地域生活支援センター香取ネットワーク 担当 / 中塚博勝
TEL 0478-50-2800 FAX 0478-50-2881

【参加費】 無料 / 7月10日まで上記宛てお申し込みください。当日参加も受け付けます。

発行元: 千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局: ひだまり(安房圏域) 館山市山本 1155

TEL 0470-28-5667 FAX 0470-28-5668

編集: さんぶエリアネット(山武圏域) 山武市成東 189-3

TEL 0475-53-5208 FAX 0475-80-2808

※内容についてのお問い合わせは、さんぶエリアネット(担当: 秋山)までお願いします。